

SDG RACING INFORMATION

SUPER GT 第1戦 岡山国際サーキット

【レースレポート】

4月11~12日 天候：晴れ

コースコンディション：ドライ

2026年SUPER GT第1戦が、岡山国際サーキットで開催された。当初は例年通りの全8大会が予定されていたが、現在の世界状況を鑑み、開幕直前に第3戦マレーシア大会の延期が発表され、今シーズンは国内戦のみの全7大会でチャンピオン争いが繰り広げられることになった。

4月11日は公式練習と公式予選が行われた。公式練習ではTRS IMPUL with SDG Zのベルトラン・バゲット選手が最終ラップで1分19秒320をマークし6位となった。公式予選のスタート時は気温25℃、路面温度は34℃まで上昇。Q1はバゲット選手が担当し、1分18秒を切る好タイムで2番手となりQ2進出を果たした。Q2は平峰一貴選手が担当し、7番グリッドで決勝に臨むことになった。

4月12日はウォームアップ走行と決勝が行われた。1万6,500人のファンが集結したこの日、気温は24℃、路面温度は39℃というコンディションで、82週の決勝レースが行われた。バゲット選手がスタートドライバーを担当。オープニングラップで抜群のダッシュを見せて7番グリッドから5番手に浮上。7周目で3番手に上がり、序盤で一気に表彰台圏内へポジションアップした。バゲット選手は最低運転義務周回数を超えた34周終了時点でピットインし、平峰選手に交代。5秒以上開いていた2番手車両との差を力強い走りで縮めていく。78周目にはその差を1.8秒まで詰め、予選順位から4つポジションアップした3位でチェッカー。今シーズンの行方を占う開幕戦で、見事表彰台を獲得した。

次戦は5月3~4日に富士スピードウェイで開催予定。



SNS ACCOUNT



@SdgMSOfficial



@sdgrider



SDG Co., Ltd.

SDG